



伊倉っ子
だより

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより

第14号

令和7年12月24日

文責：校長 須藤 隆

力いっぱい、温かい心いっぱい 伊倉小持久走大会

前日は気温が低く、天候が心配されましたが、12月5日の当日は雲間から日が差す絶好の日和となり、無事に校内持久走大会を開催することができました。これまで子どもたちは、体育の時間だけでなく、朝や休み時間にも自主的に走る姿が見られ、どの学年も目標に向かって一生懸命練習に取り組んできました。

大会当日は、仲間の頑張りをみんなの声援で後押しし、ペースが落ちてしまった子には自然と周りの友達が寄り添って一緒に走るなど、伊倉小の子どもたちの温かさがあふれる場面が多く見られました。ゴール後の子どもたちの表情は晴れ晴れとしており、達成感と自信に満ちた様子がとても印象的でした。

また、コースの安全確保には、PTA役員の皆さま、地域の皆さま、そして学校運営協議会の皆さまにご協力いただきました。多数の保護者の皆さまにも、沿道から大きな声援を送っていただき、子どもたちの力になりました。子どもたちと一緒に走っていただいた保護者の方もあり、心より感謝申し上げます。

大会の最後には、サンタクロースとトナカイが登場し、子どもたちにプレゼントが届けられるという楽しいサプライズもあり、笑顔いっぱいの締めくくりとなりました。

努力する姿、支え合う気持ち、保護者・地域の温かい協力と伊倉小のいいところが詰まった、すばらしい持久走大会となりました。



初めての大会で一生懸命に走る1年生の様子



保護者と一緒に走る様子



友達の声援を受けてみんなと一緒にゴールする様子

よいお年をお迎えください～後期前半、大変お世話になりました～



150周年記念式典での1・2年生の発表の様子

まだ暑さの残る10月14日から始まった後期も、今日12月24日（水）で前半が終了しました。後期前半は、6年生の修学旅行をはじめ、見学旅行、陸上記録会、音楽会、150周年記念式典、そして持久走大会など、さまざまな行事が続きました。どの行事でも、子どもたちが目標に向かって努力し、仲間と支え合いながら取り組む姿が見られました。

保護者の皆さまには、日頃より子どもたちの活動に温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。行事の準備や当日の応援、安全面でのご協力など、皆様のお力添えがあってこそ、子どもたちは安心して挑戦し、貴重な経験を積むことができました。

明日からは冬休みとなります。14日間ではありますが、年末年始にはたくさんの日本の伝統的な行事がたくさんあります。今日の休日前集会では、「門松」を飾る目的について子どもたちにお話をしました。門松は、年神様が家を訪れる際の目印とされるものです。このほかにも、大掃除、年越しそば、お雑煮、お節料理、初詣、しめ縄など、数多くの伝統文化と触れる機会があります。後期前半の頑張りをふり振り返りながら、体調に気を付けつつ、家族で多様な冬の行事を楽しみ、充実した休みを過ごしてほしいと思います。

後期後半も、子どもたちのさらなる成長を見守り、支えてまいります。今後ともどうぞよろしく申し上げます。それでは、よいお年をお迎えください。

